



協定を締結する釜石市長(左)と東北森林管理局長(右)

4月19日(木)、三陸中部森林管理署管内の釜石市と保護林の一つである「郷土の森」保存協定を釜石市役所市長室において締結しました。

これは、同市が橋野町第二地割に所在する国指定史跡「橋野高炉跡」と採掘場、運搬路跡を併せ一体的に近代化産業遺産群の構成資産として世界遺産登録を目指しており、隣接している橋野第一国有林については、初期近代化を物語る産業遺産及び景観の保全を最優先としつつ、市内外の方々が日本の近代化の歴史や、そのバックグラウン

「郷土の森」協定締結  
計画課・指導普及課



● 計画課・指導普及課



国指定史跡「橋野高炉跡」

ドとしての豊かな森林に触れながら学習できる憩いの場として、高炉跡と併せて一体的に活用できるように協議を重ねてきました。

今回協定が締結された「橋野鉄鉱山郷土の森」は面積463haと管内で一番大きなものとなります。

東北局としては、世界遺産への登録及び震災後の地域の活性化に資するため、三陸中部森林管理署と連携しながら釜石市を支援していく考えです。

【郷土の森の設定目的】  
地域における象徴としての意義を有する等により、森林の現状の維持について地元市町村の強い要請がある森林を保護し、あわせて地域の振興に資することを目的とする。

Mini Column

初夏の虫

へえへ、そうなんだ

青山 一郎

Ichirou Aoyama

指導普及課長

山々は「春もみじ」から一気に新緑に進み、東北の長い冬を越した虫たちも活発に動き出す季節。初夏の森で出会った虫のご紹介。

写真①は開き始めたブナの芽に齧り付くコルリクワガタ。クワガタにしては2cm程と小型でコバルトブルーに輝く変わりもの。幼虫もブナの朽木喰いで正にブナ林の虫。最近交尾器の形状とDNAから分類が見直されたそうで、解剖学的な同定には手が出ないが、東北のものは「ユキダニコルリクワガタ」となるようだ。

写真②は残雪の林内で日向ぼっこ中のホソシモフリコメツキ。ピロード状の毛が金色に輝く。コメツキムシはひっくり返すと音を立てて跳ね起きるのが愉快で馴染みの方も多いと思うが、種は多い。

写真③も金色の微毛に被われたキマダラカミキリ。樹液吸いだが、朽木から出たばかりの新成虫のようで、シダの葉で休んでいた。見る角度によってマダラ模様に変化して不思議な感じがする。写真④はブナ林の地上を歩くシロトラカミキリ。タニウツギ等の花に集まり蜜を吸う。写真⑤も花にくるニンフハナカミキリ。妖精の名のとおり花から花へと軽やかに飛び回る。

写真⑥のアオジョウカイも花にいるが、こちらは花に集まる獲物を狙う獐猛な虫喰いだ。ジョウカイボウの仲間は一見カミキリ類にも見えるが、ホタルの仲間です。

滴る山の端々で多くの虫が躍動し、季節の移ろいとともに関者はどんどん増えていく。



① コルリクワガタ



② ホソシモフリコメツキ



③ キマダラカミキリ



④ シロトラカミキリ



⑤ ニンフハナカミキリ



⑥ アオジョウカイ